

原価管理の「答え」がここにある

真の原価管理を

実現するシステム

製品別原価計算、  
始めませんか？



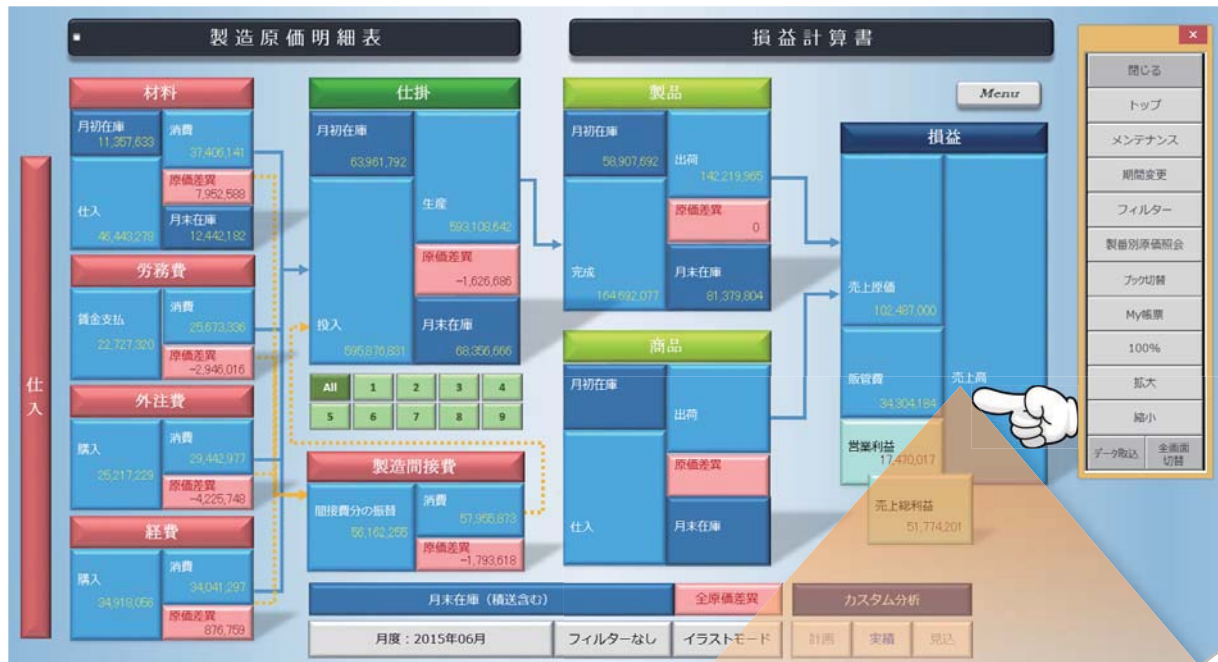
 SHIN®

公認会計士 × S I だからの視点

中小・中堅企業のための原価管理システム

<https://ksic.co.jp/>

## SHINのメニューはコストフロー



## 直観的でわかりやすい操作性

見たいBOXをクリックすると分析集計画面が開きます。

### 直観的に全体を俯瞰することができる

SHINの原価管理は、このたった1枚で全体を把握できます！その後次第に細かく、気になるところの分析に入っていきます。

### 見たい帳票がどこにあるかすぐわかる

会計の専門的な帳票名が羅列されているメニューでは、欲しい資料を探すのは大変ですが、コストフローは業務の流れに沿っているので簡単。見たい部分をタッチ(クリック)するだけです。

### 自由集計分析

コストフローの見たい部分をタッチすると、自由集計分析画面に遷移します。ここでは製品分類ごと、取引先ごと、部門ごと、品番ごとなど様々な項目が用意されており、それらの組み合わせ、クロス集計、時系列、予実比較、並び替えや特定項目だけのフィルターなど、あらゆる集計分析がその場で自由に作成できます。作成した集計表は、グラフ表示することもボタン一つです。

#### 損益-売上高

損益要素区分 売上 売上  
 月度 2015年06月 2015年06月

製品大分類名	製品中分類名	金額
(空白)	(空白)	5,586,833.00
11 自動車部品A	10 乗用車	98,137,916.00
11 自動車部品A	20 RV	21,931,718.00
11 自動車部品A	90 その他	1,833,600.00
12 自動車部品B	10 乗用車	3,389,046.00
12 自動車部品B	20 RV	6,650,584.00
12 自動車部品B	30 商用	59,200.00
12 自動車部品B	90 その他	358,160.00
20 金型	30 部品	1,680,000.00



#### 損益-売上高

損益要素区分 売上 売上  
 月度 2015年06月 2015年06月

金額	製品中分類名	10 乗用車	20 RV	30 商用
(空白)	5,586,833.00			
11 自動車部品A		98,137,916.00	21,931,718.00	
12 自動車部品B		3,389,046.00	6,650,584.00	
20 金型				
30 ヘルス・美容				
90 その他				
総計	5,586,833.00	101,526,962.00	28,582,300.00	

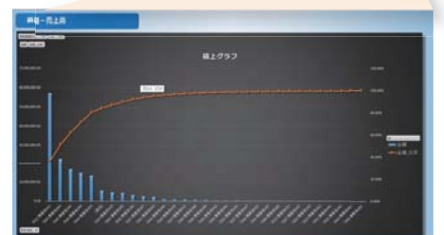


集計項目は行・列とも自由に選べます。



欲しい帳票をカスタマイズすると時間もコストも大変。自分で自由に帳票を作れるこんな機能が欲しかった！

売上の上位者(ABC分析)もボタンひとつ！



# フロー 1 枚で管理する！

## コストフローとは？

仕入→製造→出荷→利益と、会社の中を流れてゆく情報を可視的に表現した図です。

### ●コストフローがスタートメニュー！

SHIN はコストフローをそのままメニューにしました。これは SHIN の他にはない大きな特徴の一つです。原価管理になじみがなくても、直観的に要確認事項がわかり、使ってゆくうちに自然と原価管理が身につきます。

### ●リアルタイムに整頓されるキャビネット

仕入・売上・日報・生産情報など、バラバラに存在している各部門のデータは、SHIN の取込み機能によって、コストフローのあるべき位置に格納されます。(キャビネットに書類を整理するのと似ています)

### ●あらゆる集計分析を想定したファイリング

データは明細のまま保持し、あらゆる串刺し集計を瞬時に可能とする加工がされています。(書類にタグをつけてファイリングするのと似ています) これにより様々な集計から最終的に明細伝票までたどることができます。

### ●ファイリングは専門家がコンサルティング

社内データの収集と整理は全部門にかかわるため非常に煩雑です。原価管理体制構築の難しさは、この作業にかかわる部分が大いといえるでしょう。SHIN はこの部分のコンサルティングを専門家がご訪問して行います。

## 自由集計分析機能の特徴

### 決算書と現場のデータが繋がる！

決算書を見て全体を把握する…しかし決算書数値と各部門が集計する資料とが一致しない…こんな悩みはありませんか？

SHIN は決算書と部門から集めた明細データを橋渡し。決算書からそのまま部門の明細データにたどれます。

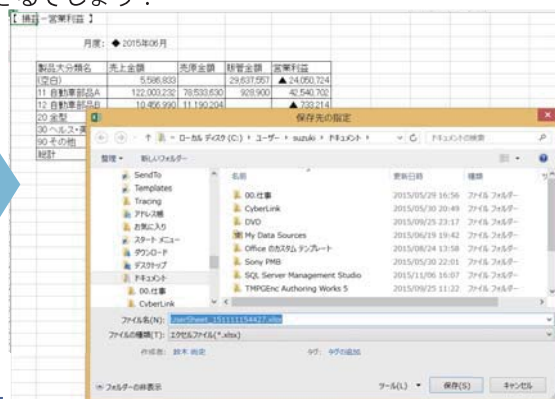
損益要率区分	（得意アイテム）	売上	売上原価	販管費	営業利益
01 商品営業1課	55,261,817	36,642,470	18,619,347	10,296	18,608,051
02 商品営業2課	59,310,643	36,618,991	22,691,652		
03 商品営業3課		290,400	▲290,400	526,800	▲817,200
11 製品営業1課	114,572,460	73,851,861	41,620,599	937,096	40,483,932
12 製品営業2課	104,912,571	17,465,054	87,447,571	1,862,355	85,885,132
13 製品営業3課		▲1,117,146	▲1,117,146	90,000	▲1,207,146
14 製品営業4課		▲275,455	▲275,455		▲275,455
90 その他	762,888	465,631	297,257		297,257
合計	105,675,459	18,772,376	86,803,083	1,652,355	85,259,728
総計	220,247,919	92,324,237	127,923,682	2,189,451	125,734,231



### ユーザー COPY 機能でそのまま Excel で加工

SHIN で作成した集計表やグラフは、ボタン一つで Excel へ出力できます。これで効果的な会議報告やプレゼン資料の作成が、短時間でできるよう！

製品大分類名	売上金額	売上原価	販管費	営業利益
(空白)	5,886,833	29,637,557		-24,050,724
11 自動車部品A	122,003,232	78,533,629.73	929,800	42,540,702
12 自動車部品B	10,456,890	11,190,203.57		-733,214
20 金型	4,549,519	1,627,559.00		2,921,960
30 ヘルス・美容	11,664,419	-214,366.43		11,878,785
90 その他	208	3,658,528		-3,658,321
総計	154,261,201	91,137,025.87	34,224,866	28,899,189



### My 帳票機能で帳票カスタマイズ費用のゼロ化！

自由集計で作成した縦軸・横軸・条件などの「集計パターン」は保存しておくことができます。つまりこれは、自由に帳票が設計できるということ！どんなシステムを導入しても見たい帳票が変わるたび半永久的にかかっていたカスタマイズ費用の節約に役立ちます。

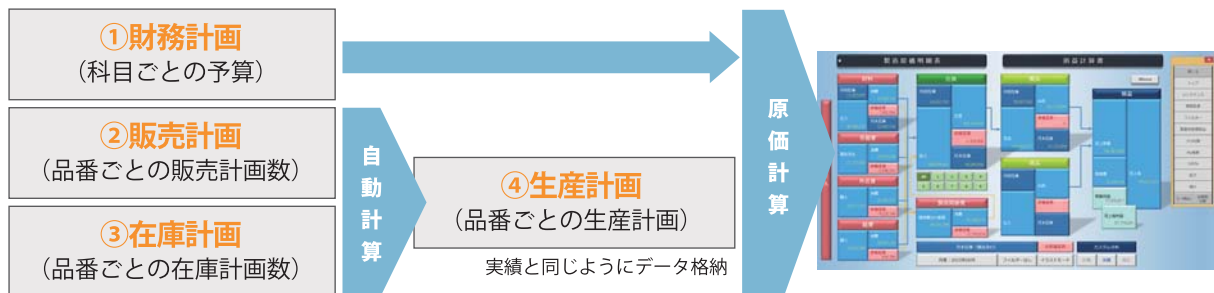
# 原価管理の究極の目的「利益」

## 原価管理はなんのために行うのでしょうか？

会計事務所や株主に正確な情報を求められるから？もちろん製品1個当たりの正確な原価を出すことは、正確な利益把握を可能とするため、決算書の信憑性をUPさせ、結果会社の信頼性につながります。しかしそういった理由の他に、もっと会社にとって根本的な目的があります。ズバリ！利益追求です。

## 予実比較：『計画と何が違っていったのか』

SHINは"3つの計画"をたてると、この数値から実績と同じ原価計算を行い、同じコストフローに格納します。だから、決算書・売上・労務費・経費等の原価・在庫・仕掛等、あらゆる場面での予実比較が可能です。



### 損益 - 売上総利益

製品大分類名	製品中分類名	売上金額(計)	売上総利益(計)	売上金額	売上総利益
(空白) 集計	(空白)	-24,624,600	-24,624,600	21,701,822	21,701,822
11 自動車部品A	10 乗用車	698,046,410	212,744,238	593,052,215	158,015,921
	20 FV	52,561,740	8,587,878	80,731,215	33,850,050
	90 その他	18,538,690	5,295,863	59,770,758	51,182,289
11 自動車部品A 集計		769,146,840	226,627,978	733,554,186	243,048,261
12 自動車部品B	10 乗用車	22,489,259			
	20 FV	74,656,192			
	30 商用				
	90 その他				231,117
12 自動車部品B 集計		97,145,451			231,117
20 金型	10 乗用車				
	20 FV				
	30 商用				
	90 その他				
20 金型 集計					
30 ヘルズ・美容	90 商用	73,283,313			
30 ヘルズ・美容 集計		73,283,313			
90 その他	(空白)				
	20 FV				
	90 その他				
90 その他 集計					
総計		915,182,121	224,326,373	935,154,150	370,962,709

### 損益計算書

科目	金額	比率
売上総利益	243,048,261	26.55%
売上総利益率		26.55%
経費	(218,743,552)	(23.82%)
営業利益	24,304,709	2.65%
営業利益率		2.65%
営業外収益		
営業外費用		
当期純利益	24,304,709	2.65%
当期純利益率		2.65%

## 原価差異分析：『標準と何が違っていったのか』

原価差異分析は、実際に生産した数量に対して、標準通り行えなかった個所を確認するものです。SHINの原価差異分析は、単価差異・数量差異を原価要素ごとに確認できるだけでなく、品番ごと、部署ごとの分析も可能。さらにわかりやすいグラフで表示します。

### 全原価差異

原価要素	単価差異	数量差異	差分	差異合計
材料費	32,987,623	-4,354,506	2,921,895	31,555,012
労務費	-3,511,668	0	46,507,168	42,995,500
外注費	1,766,147	-7,761,074	-30,465,945	-36,460,872
経費			6,719,356	6,719,356
製造間接費	65,570,717	0	66,914,702	132,485,419
仕掛			1,836,380	1,836,380
製品			0	
商品				
合計	96,812,819	-12,115,580	94,433,556	179,130,795



# 「追求機能」がわかりやすい！

## 損益見込シミュレーション：『ある条件が変わったら、今期の損益にどう影響するか』

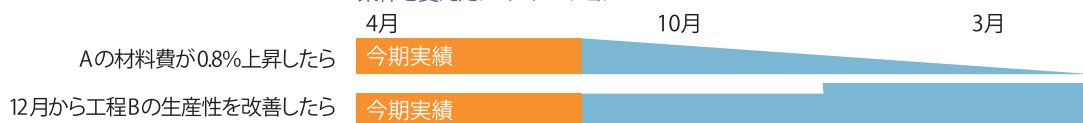
年初に立てた計画値を、当期終了月度まで実績値に置き換えて、通期の損益見込を見ることができます。  
この損益見込と年初に立てた計画値との差を見ることにより、今期終了時点の計画との差を予測することができます。

終了月度までを実績に置き換えた損益見込



さらに燃料代・材料費の高騰、新設備の導入、ある工程の外注化、様々な条件を変えた“未来の原価計算”機能により、何をどうすれば、計画との差を取り戻せるのか、その状況は今後どのくらい損益に影響を与えるのか等のシミュレーションを行うことができます。

条件を変えたシミュレーション



## 製番別の実際原価管理：原価の発生をリアルタイムに監視する

SHIN は製番別の原価を、月末を待たずに日々集計します。  
見積りとの比較・受注額との比較・追加原価の発生をリアルタイムに監視することができます。

製番別原価照会										選択率		利益率		原価合計		実際原価		完了前	
製番	名称	受注番号	受注日	受注額	完了日	売上日	売上額	予定原価	選択率	利益率	原価合計	実際原価	完了前	完了後	原価	工数			
KOBE TSU-0051	KOBE TSU-0051 個別製品個別製品	AAA-0051	2015/3/20	280,000	2015/4/1	2015/6/1	280,000	167,930	100.0%	6.0%	260,930	167,930	167,930	48,000	10				
KOBE TSU-0052	KOBE TSU-0052 個別製品個別製品	AAA-0052	2015/3/19	370,000	2015/6/1	2015/6/1	370,000	268,460	100.0%	11.0%	329,300	268,460	268,460	43,200	18				
KOBE TSU-0077	KOBE TSU-0077 個別製品個別製品	AAA-0077	2015/3/15	4,500,000				3,954,925	88.2%	12.1%	2,696,525	1,954,925	1,954,925	288,000	120				
KOBE TSU-0078	KOBE TSU-0078 個別製品個別製品	AAA-0078	2015/3/22	800,000				731,957	91.5%	8.5%	482,857	431,957	431,957	12,000	5				
KOBE TSU-0086	KOBE TSU-0086 個別製品個別製品	AAA-0086	2015/3/19	300,000				220,166	84.0%	26.6%	185,046	20,166	20,166	28,800	12				
KOBE TSU-0092	KOBE TSU-0092 個別製品個別製品	AAA-0092	2015/3/19	350,000	2015/4/23	2015/4/23	1,100,000	203,844	100.0%	75.1%	262,844	75,264	139,500	19,200	9				
KOBE TSU-0094	KOBE TSU-0094 個別製品個別製品	AAA-0094	2015/3/25	100,000				89,310	89.3%	10.1%	22,270	9,310	9,310	4,800	2				
KOBE TSU-0095	KOBE TSU-0095 個別製品個別製品	AAA-0095	2015/3/25	688,000				500,000	100.0%	37.2%	432,360	420,000	420,000	4,800	2				
KOBE TSU-0097	KOBE TSU-0097 個別製品個別製品	AAA-0097	2015/3/29	51,293	2015/5/11	2015/5/11	200,000	51,293	100.0%	56.5%	86,953	29,003	22,290	12,000	5				
KOBE TSU-0098	KOBE TSU-0098 個別製品個別製品	AAA-0098	2015/3/30	20,000				12,130	252.8%	39.4%	30,670	12,130	12,130	7,200	3				
KOBE TSU-0100	KOBE TSU-0100 個別製品個別製品	AAA-0100	2015/3/31	30,000				26,343	146.5%	12.2%	38,703	26,343	26,343	4,800	2				
KOBE TSU-0103	KOBE TSU-0103 個別製品個別製品	AAA-0103	2015/4/21	25,000				21,340	129.0%	39.0%	27,520	21,340	21,340	2,400	1				
KOBE TSU-0104	KOBE TSU-0104 個別製品個別製品	AAA-0104	2015/4/21	700,000	2015/4/17	2015/4/17	4,900,000	691,171	100.0%	84.4%	763,591	46,560	644,211	21,600	9				
KOBE TSU-0106	KOBE TSU-0106 個別製品個別製品	AAA-0106	2015/4/12	250,000				227,973	113.6%	8.8%	258,873	227,973	227,973	12,000	5				
KOBE TSU-0107	KOBE TSU-0107 個別製品個別製品	AAA-0107	2015/4/13	4,500,000	2015/5/20	2015/5/20	4,260,080	1,723,262	100.0%	56.4%	1,895,942	193,709	1,579,553	14,400	6				
KOBE TSU-0108	KOBE TSU-0108 個別製品個別製品	AAA-0108	2015/4/16	1,500,000				1,260,515	84.0%	19.4%	1,282,125	758,825	758,825	204,000	8				
KOBE TSU-0109	KOBE TSU-0109 個別製品個別製品	AAA-0109	2015/4/17	107,580	2015/9/23	2015/9/23	107,580	75,952	100.0%	18.8%	87,412	75,952	75,952	4,800	2				

## 毎朝のお楽しみ：経営ダッシュボード機能

多彩な自由分析を提供する一方で、定型の基本情報をダッシュボードとしても用意しています。  
『朝刊 SHIN』は前日の売上・仕入などの速報を ABC グラフで、『月間 SHIN』は差異情報なども含んだ月報です。  
忙しい朝、とりあえず SHIN の朝刊に目通す…わかりやすいグラフ表示でリアルタイムにな情報が短時間で把握できる、経営者に嬉しい機能です。



# オールインワンの SHIN

システムじゃ足りない。  
必要なのはシステムと連携  
したコンサルティングだ！



仕入・売上げじゃ足りない。  
必要なのは原価計算情報まで  
BI するツールだ！

原価管理は“データ資産の有効活用”と言えます。原価管理ができていない・ということは、“データ”という貴重な資産を活用できていないということです。SHINは、原価管理の目的である利益追求（信頼性のある利益分析と根拠ある改善提起）のためには、（原価計算結果情報をも含めた）データの有効活用が必須であると考えます。だからSHINは、そのために必要な3つの機能をオールインワンにパッケージしました！

- ①「社内データの統一化」コンサルティングとデータ収集プログラム開発
- ②原価計算機能
- ③集計分析BIツール



## SHIN 導入のメリット

### メリット1 今あるシステムを変える必要がない

導入済みの基幹システムはそのままお使いいただけます。またシステムがはいってなくても、Excel等で管理しているデータも含め、既存データを最大限有効に活用いたします。

### メリット2 課題が明確化

原価計算・原価管理に必要なデータが揃ってなくても導入が可能です。今あるデータだけで原価管理がどこまで行えるのかが可視化されます。今何が見えないのか、何をすれば何が見えるようになるのか、こういった課題の明確化自体が、すでに原価管理体制構築の効果といえます。

### メリット3 製品別の標準原価を簡単設定

初期標準原価が簡単に構築できます。分かりにくい労務費レート・製造間接費レートも、この機能により明確となり、放置しがちな労務費・間接費まで含めた製造原価を設定できます。

### メリット4 次年度計画が精度アップ

標準原価を使った精度の高い年度計画作成サポート機能を有しています。コストフローで見る予実比較は、これまでにない縦横無尽な切り口で有益な情報をもたらすことでしょう。

### メリット5 低価格

原価管理（利益管理）、情報の有効活用は、会社としての基本。会社の規模を問わず当たり前に行ってほしい。多くの会社で監査や原価管理コンサルを行ってきた会計士の想いが、SHINの基本思想にあります。しかし原価管理システムは非常に高価で大掛かりなものばかり。SHINはこの現状に挑戦し、価格を意識的に抑えています。だから導入コストも将来コストも非常に安い！

- ・製品別原価計算システム、原価管理システムのフル機能でありながら低価格！
- ・BI導入の際に、最もコストがかかるコンサルティングとDB構築費用が含まれている！
- ・自由集計機能により、帳票カスタマイズ費用がかからない

# SHIN の誕生

## 会計士と Sler との共同開発により誕生した SHIN

BI (Business Intelligence) は事業改善を目的としたデータ可視化の高機能ツールですが、従来の BI には様々な課題があり、企業において思うように活用が定着しないケースが多いように思います。以下に従来の BI が抱える課題の幾つかを挙げてみました。

- × 使いづらく、専門的な知識も必要なため定着しない
- × データマイニング・OLAP・統計解析など様々なサービスが必要となり高価である
- × ユーザのほしいデータが不足しており IT 部門にデータ入手を依頼して手動加工している

このような課題に対応するため、高価な専用システムを必要とせず、また幅広いユーザが情報を分析して独自のダッシュボードやレポートを作成できる「セルフサービス BI」と呼ばれる製品が注目されるようになりました。データ分析に精通したエキスパートにとっては、セルフサービス BI はもってこいのツールと言えるでしょう。しかし、分析に不慣れな人々にとっては自由度が大きい分、かえって使いこなすのは困難という声も一方では耳にすることが多く、万人にとって使いやすく安価な製品は皆無と断言していいでしょう。SHIN は、これらの課題を解決するために誕生した製品です。

## SHIN はこのような企業に最適です

安価に導入・  
運用したい



導入後すぐ  
運用したい



会計士等、原価の専門家に  
相談しながら  
導入を進めたい



SHIN は、低価格を実現するセルフサービス BI のメリットを生かしつつ、原価分析では専門家のお膳立てを製品の機能に加えて、分析に不慣れな人々をもナビゲートします。SHIN は、まさに会計のプロと Sler との共同開発により誕生した、新しい発想の利益・原価ナビゲートシステムなのです。

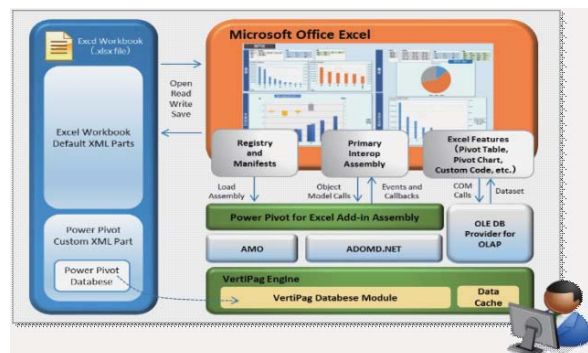
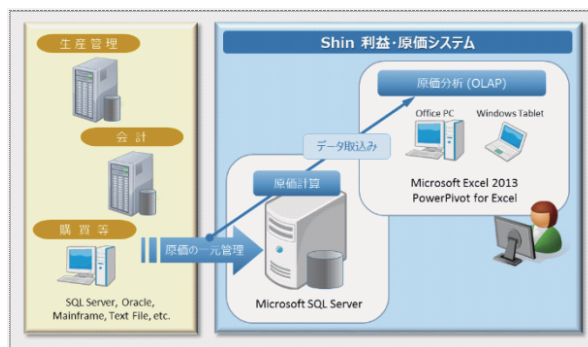
### ■ SHIN を構成する技術要素 SHIN のシステム構成について簡単に紹介します。

SHIN に必要なソフトウェアは、データベース※1 と Microsoft Excel 2013 (office professional plus) のみで、OLAP 等のサーバサービスを必要としません。

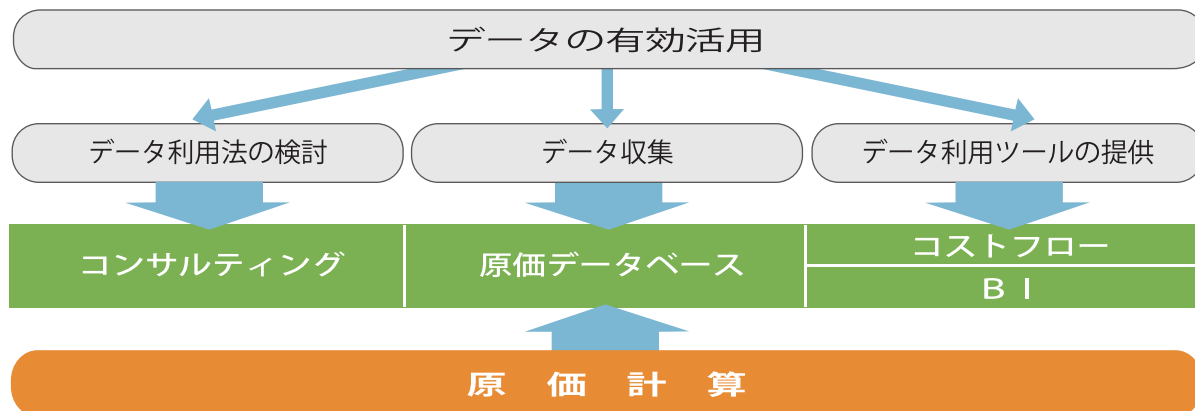
※1) 現バージョンは SQL Server に対応しています。

PowerPivot for Excel は Excel のアドイン機能です。従来は SSAS (SQL Server Analysis Services) 等のサーバコンポーネントでオンライン分析を可能とする多次元データベース (Cube) をサーバ上に構築していましたが、PowerPivot for Excel では Excel のブック内に多次元データベースを作成することができます。また、ブック内に保存されるため、データがポータブルであることも特徴です。

PowerPivot は、SSAS と同様に VertiPac というインメモリ DB を使用してオンメモリで動作することで、高速な分析を可能とします。しかし、一般的に PC はサーバよりもメモリ搭載が少ないこと、また原価データは中小規模の企業で見積もっても経年明細レベルで数千万を超えるデータ件数を扱う場合もあることから、大量データの分析レスポンスに考慮する必要があります。SHIN では、会計のプロが必要項目を選定しているため、無駄なデータのメモリ使用は行いません。また、分析レスポンスを上げるための裏側の処理実装により大量データに対応できるシステムを実現しています。



## SHINの機能範囲



### 製品別原価計算を非常に簡単に構築できるシステムです。

- ・量産型生産と個別受注型生産の両方の製品別原価計算に対応
- ・標準原価計算と実際個別原価計算に対応
- ・原価計算方式が異なる工場も SHIN ですべて統合
- ・配賦方法は部門共通費配賦と補助部門費配賦の2段階
- ・決算書との整合（不一致部分を「差分」表記）
- ・「実際」「計画」「見込」の3つの原価計算結果を保持

## SHINが対応している原価計算機能

### 1. 原価計算方式

生産形態	量産型／個別受注型
原価計算方式	標準原価計算／実際個別原価計算
原価計算形態	単純総合／組別総合／個別原価
工程別	あり／無し
出庫方式対応	バックフラッシュ型／プッシュフォワード型
生産管理方式	製番管理／総量管理
データ表現	非累加法

### 2. 配賦計算

配賦計算	部門共通費配賦／補助部門費配賦
配賦法	直接法
配賦基準方法	固定比率配賦
配賦レート	予定レート／実績レート
レート単位	全社レート／部門レート
配賦基準値	実際値配賦／予定値配賦
配賦周期	月度配賦／年度配賦
配賦レベル	最大5レベル

### 3. 原価差異

	標準原価計算 (計画原価方式含)	実際原価計算 (個別)
材料購入単価差異	○	○
材料消費数量差異	○	○
労務費レート差異	○	○
労務費時間差異	○	△
外注費レート差異	○	○
外注費数量差異	○	△
経費レート差異	○	○
経費数量差異	○	△
製造間接費予算差異	○	○
製造間接費効率差異	○	△
製造間接費操業度差異	○	○

## ■ お問い合わせ先

### 【製造開発・販売】

株式会社ケイズ

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町 2-6-8

日本橋 KS ビル 3F

TEL：03-5640-6351（代表）

MAIL：info@ksic.co.jp

URL：http://ksic.co.jp/

### 【コンサルティング・販売】

株式会社イープラス

## ■ 設計監修 岡本 俊也 公認会計士

システムエンジニアとして、経営情報管理システム等の開発に携わる。その後公認会計士の資格を取得。監査法人にて多くの企業監査を経験後、独立。システムエンジニアリング技術を合わせもつ会計士として、システム監査、生産管理システム/原価管理システムの開発導入コンサルティングを手がける。

特に原価管理に関しては得意分野とし、中小企業の手軽なIT活用や、原価管理の簡易システムを開発し数社に提供。その過程で中小・中堅企業における原価管理業務の必要性と、システム不在の現況を感じ、これまで提供したシステムのトータル版ともいえる原価管理パッケージ「SHIN」を開発。会社の規模を問わず安価に導入でき、有益な情報活用を実現する「コンサルティング+パッケージシステム」という新しいサービスを発信している。